TADOKU JUNIOR はじめての名作童話 ★★★☆☆ ふつう 445語

The Nail

くぎ

Katharine Pyle（1918年の本） 原文そのまま 朗読：Reeses118

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ お金をたくさんもって、家へいそぐ商人。「馬のていてつのくぎがゆるんでいますよ」と言われても、止まろうとしません。たった一本のくぎのせいで……。



A merchant had been trading in a far city and had made much money, which he was now bringing home with him. He rode in haste, for he knew he would not feel easy until he had locked away the gold in his strong room at home.

Toward the middle of the morning he stopped at an inn to give his horse water. “Sir,” said the ostler who waited on him, “a nail is loose in your horse’s shoe.”

“No matter,” answered the merchant. “I am in haste, and the shoe must go as it is till I get home.”

A little later he stopped at another inn. “Sir,” said the ostler, “your horse’s shoe is loose; shall I not take him to the blacksmith near by and have the shoe fastened on?”

“No,” answered the merchant, “I have not time to wait. I must be home before nightfall.”

The merchant rode still farther, but presently his horse began to limp. It limped more and more, until at last, in the very midst of a deep forest, it stumbled and fell, and could not get up again.

The merchant was in despair. Dusk was coming on, and there seemed nothing for it but to spend the night in the forest. However, he discovered a house near by, and the old woman who was in charge of it promised him food and a lodging for the night.

When the merchant went up to bed he put his bag of gold under his pillow. He meant to watch all night, but he was very tired, and presently, in spite of himself his eyes closed and he fell into a deep sleep.

Now this house belonged to a band of robbers, and the old woman was their housekeeper. Soon after the merchant was asleep the robbers came home. The housekeeper told them of the rich man who had come to the house while they were away, and of how she had given him a bed for the night.

The robbers went up to the merchant’s room and finding him asleep they stole the bag of money from under his pillow, and made off with it.

In the morning, when the merchant awoke, he felt under his pillow for the bag, but it was gone. He called aloud, but no one answered. He searched the house from top to bottom, but could find nobody.

So the merchant lost both his gold and his horse. “And all,” said he, “because I was in such haste that I would not stop for a nail to be put in my horse’s shoe. It is a true saying—‘the more haste the less speed.’”

和訳 くぎ（The Nail）

ある商人が、遠くの町で商売をして、たくさんお金をもうけ、そのお金をもって家へ帰るところでした。商人は馬をいそがせました。家のがんじょうなへやに金をしまってかぎをかけるまでは、安心できないとわかっていたからです。

お昼前ごろ、商人は馬に水をやるために、宿屋で止まりました。「だんなさま」と、世話をしてくれた馬番が言いました。「馬のていてつのくぎが、ゆるんでいますよ」

「かまわないよ」と商人は答えました。「いそいでいるんだ。家につくまで、ていてつはそのままでいい」

少しして、商人はまたべつの宿屋で止まりました。「だんなさま」と馬番が言いました。「馬のていてつがゆるんでいます。近くのかじ屋につれていって、ていてつをとめてもらいましょうか？」

「いや」と商人は答えました。「待っているひまはないんだ。日がくれる前に家につかなければならないんだよ」

商人はさらに先へ馬を走らせましたが、やがて馬が足を引きずりはじめました。馬はだんだんひどく足を引きずるようになり、とうとう深い森のまん中で、つまずいてたおれ、もう立ち上がれなくなってしまいました。

商人はとほうにくれました。夕やみがせまってきて、森の中で夜をすごすしかないように思えました。ところが、近くに一けんの家が見つかりました。その家の番をしているおばあさんが、食べ物とひとばんのねどこを用意してあげましょうと言ってくれました。

商人はねるために二かいへ上がると、金の入ったふくろをまくらの下に入れました。一ばんじゅうおきて見はっているつもりでしたが、とてもつかれていたので、まもなく、思わず目がとじて、ぐっすりねむってしまいました。

じつはこの家は、どろぼうの一味の家で、おばあさんはどろぼうたちの家の世話をしていたのです。商人がねむってまもなく、どろぼうたちが帰ってきました。おばあさんは、みんながるすのあいだにお金持ちの男が来たこと、ひとばんとめてやったことを話しました。

どろぼうたちは商人のへやへ上がっていき、商人がねむっているのを見ると、まくらの下からお金のふくろをぬすんで、にげていきました。

朝になって目をさました商人が、まくらの下のふくろをさがすと、なくなっていました。大声でよびましたが、だれも返事をしません。家じゅうを上から下までさがしましたが、だれも見つかりませんでした。

こうして商人は、金も馬もなくしてしまいました。「それもこれも」と商人は言いました。「いそぐあまり、馬のていてつにくぎ一本うってもらうために止まろうとしなかったからだ。ほんとうに、ことわざのとおりだ。『いそがばまわれ』」

たんご と クイズ くぎ

nail くぎ	**horse** 馬	**shoe** ていてつ（馬のくつ）
blacksmith かじ屋	**forest** 森	**pillow** まくら
robbers どろぼう		

Q1 宿屋の馬番は、商人に何をおしえた？

① 道がまちがっていること　② 馬のていてつのくぎがゆるんでいること　③ どろぼうがいること

Q2 商人の馬は、森のまん中でどうなった？

① つまずいてたおれた　② 森の中へにげた　③ ねむってしまった

Q3 商人がとまった家は、だれの家だった？

① かじ屋の家　② 商人の友だちの家　③ どろぼうの一味の家

こたえ

Q1 ② 馬番は「馬のていてつのくぎがゆるんでいますよ」とおしえましたが、商人はいそいでいたので気にしませんでした。

Q2 ① 馬はだんだん足を引きずるようになり、とうとう深い森の中でつまずいてたおれ、立てなくなりました。

Q3 ③ その家はどろぼうたちの家で、おばあさんは家の世話をしていました。夜のあいだにお金のふくろをぬすまれてしまいます。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #49001（Katharine Pyle、1918年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Reeses118（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。